

平成 20 年 11 月 4 日

各 位

会社名 ホソカワミクロン株式会社
代表者 代表取締役社長 細川 益男
(コード番号 6277 東証・大証 1 部)
問い合わせ先 広報・IR 室 室長荒川 隆
電話番号 072-855-2226

**血管再狭窄予防用『薬剤溶出型バルーンカテーテル』の3社共同研究開発
動物試験で有効性を確認**

ー『第 11 回 日本栓子検出と治療学会』において発表ー

当社の研究開発子会社 (株)ホソカワ粉体技術研究所(以下、ホソカワ)は、平成 19 年 11 月 15 日公表資料の通り、アンジェス MG 株式会社(以下、アンジェス)およびメディキット株式会社(以下、メディキット)と、血管再狭窄予防を目的とした『薬剤溶出型 PTA バルーンカテーテル (NF- κ B デコイオリゴコーティング)』に関する共同研究開発を進めておりますが、この度、動物試験においてその有効性を確認できましたので、お知らせいたします。

本プロジェクトは、NEDO 技術開発機構(独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)の平成 19 年度【健康安心プログラム】に係る「基礎研究から臨床研究への橋渡し促進技術開発／橋渡し促進技術開発」委託事業の助成対象として採択されたプロジェクトの成果です。なお、本件評価は、アンジェスが動物試験を再委託しています国立大学法人大阪大学大学院医学系研究科にて実施されたものです。

*平成 19 年 11 月 15 日発表:<http://www.hosokawamicron.co.jp/news/2007/>

<動物試験結果の概要>

アンジェスが開発を進めております NF- κ B デコイオリゴをホソカワの 200 ナノメートルの生体適合性高分子 PLGA ナノ粒子に封入し、メディキットが薬剤塗布した PTA バルーンカテーテルを用いて、ウサギを使った再狭窄モデルへ投与いたしました。

その結果、病変部位への薬剤の導入効率率は良好で、内膜傷害後に形成される狭窄病変に対する効果は、NF- κ B デコイオリゴを含有していない PTA バルーンカテーテルと比較したところ、統計学的に有意に再狭窄を抑制いたしました。

なお、この結果は、平成 20 年 10 月 31 日に開催されました「第 11 回日本栓子検出と治療学会」において、大阪大学から発表されました。

この発表において大阪大学大学院医学系研究科森下竜一客員教授は、「今回の結果は、デコイ溶出カテーテルの有効性を示したものであり、世界で初めての薬剤溶出型カテーテルの実用化に大きく前進しました。」と述べています。

本結果より、本共同研究開発グループ3社では、今後、臨床試験実施に必要な非臨床試験を早期に実施し、実用化を急ぎたいと考えております。

以上

＜ご参考＞

－会社概要－

社名：**アンジェス MG 株式会社**
本社：大阪府茨木市彩都あさぎ 7 丁目 7 番 15 号
代表者：代表取締役社長 山田 英
設立：1999 年 12 月
資本金：9,439 百万円(2007 年 12 月末現在)
従業員：79 名(2007 年 12 月末現在)
連結売上高：1,720 百万円(2007 年 12 月期)
事業内容：遺伝子医薬品の研究開発

社名：**メディキット株式会社 / 東郷メディキット株式会社***
本社：東京都文京区湯島 1 丁目 13 番 2 号
代表者：代表取締役社長 中島 弘明
設立：1973 年 6 月
資本金：1,241 百万円(2008 年 3 月末現在)
従業員：150 名(2008 年 3 月末現在)
連結売上高：11,926 百万円(2008 年 3 月期)
事業内容：医療機器の開発・製造・販売・輸出
*東郷メディキット(株)は、メディキット(株)の 100%子会社であります。

社名：**株式会社ホソカワ粉体技術研究所**
本社：大阪府枚方市招提田近 1 丁目 9 番地
代表者：会長 細川 益男、社長 向阪 保雄
設立：2002 年 10 月(創設:1958 年 9 月)
資本金：491 百万円
従業員：39 名(2008 年 3 月現在)
事業内容：ナノパーティクル・テクノロジーを核とした独自の粒子設計・加工技術
*受託研究開発、受託加工、ナノ複合粒子等の材料・製品販売、
高機能化粧品・育毛剤の製造販売
大株主(持株比率)：ホソカワミクロン株式会社(100%)
連結売上高:50,510 百万円(2007 年 9 月期)

以上